

RYOBI

リョービグループ 社会・環境報告書 2008

A lush green forest with a stream flowing through it, used as a background for the report cover. The scene is misty and serene, with sunlight filtering through the dense canopy of trees. The stream flows over rocks, creating small cascades and white water. The overall atmosphere is peaceful and natural.

■ 真に豊かな社会の実現をめざして

当社グループの企業理念は「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」です。

“モノづくり”を通じて人々の暮らしの中にゆとりと豊かさを創造することを使命としダイカスト、印刷機器、パワーツール、建築用品の4つの事業を展開しています。

地球環境の保護がますます重要視される中で、アルミニウムダイカストは、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れていることから、環境保全に有効な技術としてあらゆる分野から注目されています。また、印刷機器、パワーツール、建築用品の各事業においても、環境に配慮した商品の開発はもとより、生産・販売からお客様にお使いいただくまで、さまざまなプロセスで環境保全に取り組んでいます。

当社グループは事業活動を通じて発生する環境負荷を低減し環境を保護することは、重要な経営課題の1つとしてとらえています。環境負荷低減目標を設定し、CO₂の削減にグループが一体になって取り組んでいます。

また、環境省が推進している「チーム・マイナス6%」にも参加し、クールビズの促進、ブラックイルミネーションの実施などを行っています。

このような環境保全への取り組みに加えて、社会貢献活動、コンプライアンス、お客様の立場に立った商品・サービスの提供、働きやすい職場づくり、積極的な企業情報の開示を柱としたCSR経営を行うことで、社会の信頼にこたえ、真に豊かな社会の実現をめざしています。

本報告書はこのような活動の一端を掲載しましたので、ご覧ください。

2008年8月

リョービ株式会社

代表取締役会長

(リョービ環境保全委員会 統括委員長)

浦上 浩



CONTENTS

本報告書の対象期間 2007年4月～2008年3月（2007年度）

本報告書の対象範囲 リョービ株式会社
 リョービマジクス株式会社・リョービ販売株式会社・リョービミラサカ株式会社
 リョービミツギ株式会社・株式会社東京軽合金製作所・生野株式会社
 リョービパワーツール株式会社・旭産業株式会社・リョービ開発株式会社
 リョービコンピュータービジネス株式会社

リョービグループのCSR(企業の社会的責任)経営 ----- 02

社会貢献

リョービ環境保全委員会の社会貢献活動 -----	04
NPO法人 リョービ社会貢献基金の事業活動 -----	04
リョービ環境保全委員会 2007年度 社会貢献活動一覧 -----	05

社会性報告

コンプライアンス ―健全で活力にみちた企業を築くために― -----	06
コミュニケーション -----	07

環境保全

リョービ環境方針 -----	08
環境目的・目標 -----	09

環境保全技術

ダイカストとは? -----	12
ダイカスト製品のライフサイクルアセスメント -----	12
煙道の排熱利用による重油使用量の削減 (リョービ株式会社広島工場) -----	13
A重油から都市ガスへの変更によるCO ₂ 削減 (株式会社東京軽合金製作所) -----	14
コンプレッサー台数制御による消費電力の削減 (リョービミラサカ株式会社) -----	15
リョービの印刷機と環境対応 -----	16
環境保護印刷の新技術 -----	17
環境に配慮した商品開発 -----	18
環境に配慮した商品 -----	19

環境保全の取り組み状況

環境パフォーマンスデータ -----	20
マテリアルバランス -----	22
環境に関する法規制 -----	23
環境監査 -----	24
リョービ環境年表 -----	25

環境マネジメント

リョービ環境保全委員会の運営組織図 (ISO 14001推進組織) -----	26
環境管理組織 (部会) と事業所 (リョービ株式会社と国内グループ会社) -----	28

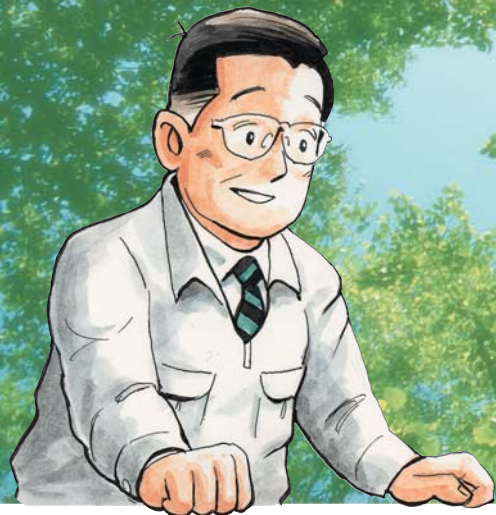
リョービグループのCSR(企業の社会的責任)経営

リョービグループは企業理念「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」のもとで、企業の持続的な価値創造とより良い社会の実現をめざし、社会的責任を果たすことを経営の基本としています。単に、公正な競争を通じて利潤を追求するだけでなく、広く社会から有用な存在として、好感を持たれ信頼される企業になることをめざしています。

企業理念

Corporate Social Responsibility

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 環境保全への取り組み | 地球環境への配慮(持続可能な社会の実現) |
| 社会貢献活動 | 地域社会との共存 |
| コンプライアンス | 法令・倫理等の遵守 |
| お客様の立場に立った商品・サービスの提供 | お客様満足度の向上 |
| 働きやすい職場づくり | 社員満足度の向上 |
| 積極的な企業情報の開示 | 株主・投資家等の皆様とのコミュニケーション |



環境マネジメントシステムを構築し、環境保全を推進

リョービグループは13社、17拠点でISO 14001の認証を取得。環境に関するマネジメントシステムを構築し、維持・運用しています。各社、各拠点ごとに環境への影響をふまえて環境目的・目標を設定し、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減などに取り組んでいます。



社会貢献活動をさらに推進

リョービでは、アルミ缶回収運動、事業所周辺の河川敷や道路などの清掃活動、チャリティーバザーの開催や献血への協力など、社員による社会貢献活動を積極的に推進しています。2004年には、その取り組みをさらに強化・拡充するために、「特定非営利活動法人(NPO法人)リョービ社会貢献基金」を設立しました。



社会との信頼関係を大切にする

企業が広く社会から信頼されるためには、法令や倫理に反する行動をしない、常に正しい行動がとれる体制を確立することが重要です。そのため、リョービグループでは、コンプライアンスを重要な課題の一つとして取り組み、リョービコンプライアンス委員会を中心とする推進体制の確立や、リョービ企業行動憲章による企業倫理の徹底をはかっています。

コンプライアンス —健全で活力にみちた企業を築くために—

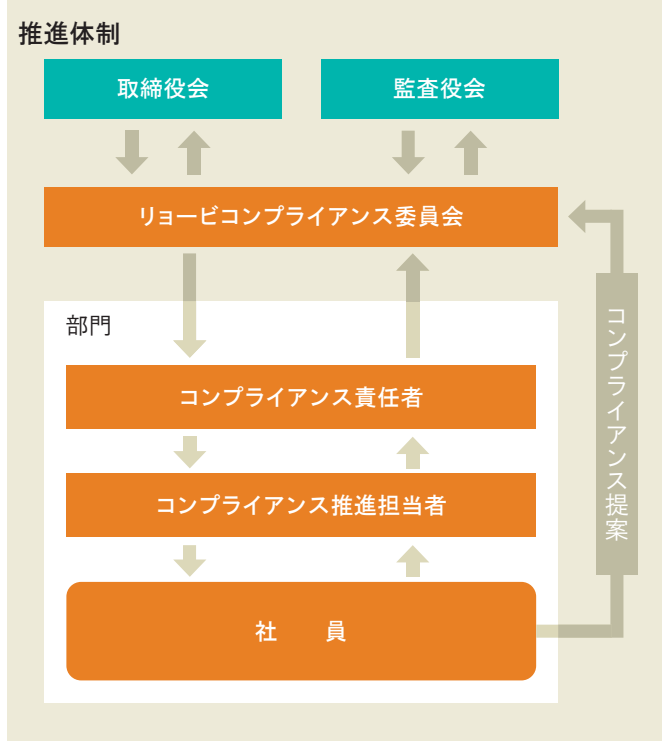
コンプライアンス

リョービは、単に公正な競争を通じて利潤を追求するだけでなく、広く社会から有用な存在として信頼される企業となることをめざします。そのため、コンプライアンスを重要な課題の1つとして取り組み、リョービコンプライアンス委員会を中心とする推進体制の確立や、リョービ企業行動憲章による企業倫理の徹底をはかっています。

コンプライアンス推進への取り組み

2003年にリョービコンプライアンス委員会を設置し、グループ全体でコンプライアンス推進への取り組みを始めました。企業倫理の徹底をはかるために「リョービ企業行動憲章」と「リョービ自主行動規準」を制定し、社長（現会長）のメッセージとともに国内リョービグループの全社員に配付しました。

また、コンプライアンスに反する行為や事態に対する会社の自主的な正・改善機能の強化をはかり、コンプライアンスに関する問題や提案について社員の声を聴く窓口として「コンプライアンス提案窓口」を設置しました。



リョービ企業行動憲章

リョービ企業行動憲章は、企業倫理意識の高揚をはかるために遵守すべき行動指針を定めています。当社は企業理念である「健全で活力にみちた企業」の実現のため、全ての法律、国際ルール及びその精神を遵守するとともに社会的良識をもって行動し、単に公正な競争を通じて利潤を追求する経済主体であるだけでなく、広く社会から有用な存在として信頼される企業となることをめざします。

- 1 有用な商品・サービスを安全性に十分配慮して開発、提供し、消費者・ユーザーの信頼を獲得します。
- 2 公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を維持します。
- 3 ステークホルダーはもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、情報を積極的かつ公正に開示します。
- 4 環境問題への取り組みが企業存続の必須の要件であることを認識し、地球環境の保全に積極的に取り組みます。
- 5 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。
- 6 社員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、社員の人格と個性を尊重して創意と活力に満ちた職場風土を醸成します。
- 7 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは断固として対決します。
- 8 海外の活動においては、その文化や習慣を尊重し、現地の発展に貢献する経営を行います。
- 9 当社の経営層は、社会の負託に応えるため、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、関係者への周知徹底と社内体制の整備を行います。
- 10 当社の経営層は、本憲章の精神に反するような事態が発生したときは、自らの責任において問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会へ迅速かつ的確な情報開示を行うとともに、責任を明確にした上、厳正な処分を行います。

コミュニケーション

1. ホームページによる情報公開

リョービ株式会社及び国内グループ会社では、ホームページで情報を公開しています。ぜひご覧ください。

- | | |
|---------------|---|
| ●リョービ株式会社 | http://www.ryobi-group.co.jp/ |
| ●リョービマジクス株式会社 | http://www.ryobi-group.co.jp/imagix/ |
| ●リョービ販売株式会社 | http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/ |
| ●リョービミラサカ株式会社 | http://www.ryobi-group.co.jp/r-mira/ |
| ●株式会社東京軽合金製作所 | http://www.ryobi-group.co.jp/tk/ |
| ●リョービ開発株式会社 | http://www.shobaracc.com/ |



2. 地域との公害防止協定に基づく協議会

事業所所在地の行政、地域社会などと公害防止協定を締結している事業所〈部会〉(23ページ表の最下段参照)は、協定に基づき定期的に工場排水の水質検査結果、煤塵測定結果、騒音測定結果などを報告するなど、協議の場を設けています。各事業所とも地域社会などと良好な関係が維持されています。

3. 外部からの情報公開要求、苦情等

当該年度の情報公開要求はありませんでした。また、環境に関する苦情等については、次のとおり対応しました。

1. 生野部会

'07.04.03発生

煙(青い煙)が出ているとの苦情。

原因: 油付スクラップを炉で溶解中、油の不完全燃焼による多量の煙発生による。

対策: 炉を変更し溶解することで、煙の発生を抑制した。

2. ダイカスト本部広島部会

'07.08.06発生

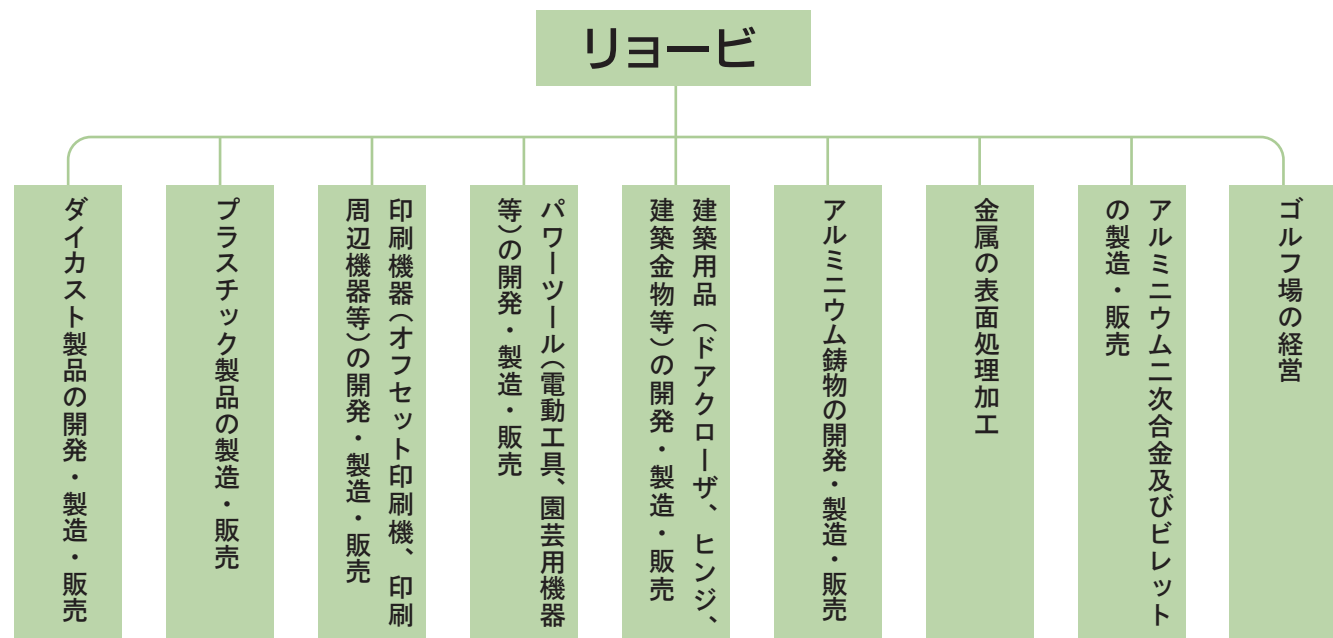
材料不良をバリ缶へ投入時の高い金属音に対し、近隣住民より苦情。

原因: AM7:30頃より防音扉が開いた状態で作業をしていたことによる。

対策: 防音扉を確実に閉め、AM8:00以降の作業とすることを手順に定め関係者に指導した。

リョービ環境方針

リョービ*は、以下の事業を行う部門で構成される。



※リョービとは、グループ会社を含めて次の事業所をいう。

- ・リョービ株式会社の本社、東京支社、大阪支店、名古屋営業所、広島工場、広島東工場、静岡工場、印刷機器工場、府中物流センター、御調第1物流センター、御調第2物流センター。
- ・リョービマジクス株式会社の本社、東京支店、名古屋支店、大阪支店。
- ・リョービ販売株式会社の本社、中部営業部、名古屋営業所、関東営業部、東京北営業所、関西営業部、高槻営業所。
- ・リョービミラサカ株式会社・リョービミツギ株式会社・株式会社東京軽合金製作所・生野株式会社
- ・リョービパワーツール株式会社・旭産業株式会社・リョービ開発株式会社の庄原カントリークラブ
- ・リョービコンピュータービジネス株式会社

リョービは、環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品及びサービスによる環境への影響が大きい項目に関して、技術的及び経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定、見直しを行い継続的な改善をはかる。

また、これらの活動を通じて経営計画の達成をはかると共に、社会の発展に貢献する。

- ISO 14001: 2004規格要求事項に沿った規定を制定し、実行する。
- 環境関連の法律、規制、協定又は関連する組織が同意する環境関連要求事項を遵守し、環境汚染を予防する。
- 省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組む。
- 緊急時に廃油、灯油、重油、廃液、薬品、化学物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防処置に努め、訓練を行う。
- 全構成員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行う。
- 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献する。
- この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、一般の人にも公開する。

環境目的・目標

環境目的とは、リョービ環境方針に基づき、中・長期的にめざす姿を具体化したものです。環境目標とは、それを実現するための年度別目標です。環境目的・目標は、部会の推進単位(課単位)ごとに「環境マネジメントプログラム」に落とし込んで実施されます。各部会の活動と実績の一部を紹介します。

なお、2008年1月、リョービグループ環境負荷低減目標を定め全グループで取り組んでいます。

リョービグループ環境負荷低減目標
(1) 2006年度比でCO2排出量売上高原単位を2012年度までに6%削減する。
(2) 前年比でCO2排出量売上高原単位を2008年度～2010年度までは、毎年1%削減する。

	目的	目標	2007年度実績
環境マネジメントシステム 法令及びその他の要求事項の遵守 P.23	環境法規制及びその他の要求事項を遵守し、環境汚染を防止する。	遵守状況を定期的に評価し、不適合ゼロを達成する。	不適合事例なし。 ＜全部会＞
	環境関連有資格者を計画的に養成する。	必要資格・人数を把握し、各年の教育訓練計画にて養成する。	資格取得:3資格、5名、エネルギー管理士4名。 ＜ダイカスト本部広島部会＞ 危険物取扱者4名。 ＜リョービミラサカ部会＞ 公害防止管理者(大気1名、水質2名)、エネルギー管理士1名取得。 ＜本社部門部会＞
環境保全の取り組み	天然資源保護のため、主材料及び搬送用・梱包用材料の購入量を2009年3月までに3%削減する。(2005年度比)	材料のリサイクルや効率的活用を推進し、購入量を2008年3月までに2%削減する。(2005年度比)	金型電極材の直彫り加工及び再利用の推進により、電極材を8.9%削減。 遊休梱包材の再利用により、梱包材の購入を6.6%削減。 ＜ダイカスト本部広島部会＞
	電力・重油等の使用による二酸化炭素(CO2)排出量についての教育及び監視を行い、排出量を削減する。	CO2排出量について前年度比1%削減する。	CO2排出量は、重油使用量の減少により前年度より1.8%削減。 ＜リョービミラサカ部会＞
	天然資源保護のため、電力、重油、ガスの使用量削減を目指し、2010年3月までに3%削減する。(2007年3月度比)	使用機器・備品の操作、管理方法を再検討・改善し、2008年3月までに1%削減する。(2007年3月度比)	設備の計画休転、溶解保持炉の定期点検・修理・更新、省エネ意識向上活動により、4部署達成、1部署未達成。 ＜リョービミツギ部会＞
	地球温暖化の防止及び天然資源保護のため、電力、重油、ガスの使用量を2010年3月までに5%削減する。(2002年度比)	電力、重油、ガスの使用量を2008年3月までに1%削減する。(2002年度比)	「エネルギー原単位(原油換算kl/ton)」では、27%削減を達成。 ※2007年11月LP溶解炉を更新し、燃料をA重油から都市ガスに変更した削減効果である。 ＜東京軽合金製作所部会＞
省資源 省エネルギー 地球温暖化防止	地球温暖化防止のため、温室効果ガス(CO2等)の排出量を削減する。	アイドリングストップ、経済走行を意識した運転、走行距離及び燃料使用量の管理により、燃費を1%向上する。(2006年度比)	燃費1.0%向上。 ＜大阪部会＞
	水質・土壌汚染防止のため、液体保管物(切削油、作動油、潤滑油、溶剤等)の使用量を2009年3月までに3%削減する。(2005年度比)	液体保管物の液モレ・コボレの排除、効率的活用を推進し、使用量を2008年3月までに2%削減する。(2005年度比)	液体保管物(切削油、作動油、潤滑油)の使用量を目標より7.5%削減。 ＜ダイカスト本部広島部会＞
	水質・土壌汚染防止のため、汚泥発生量を2010年3月までに5%削減する。(2006年度比)	作動油・冷却水の漏れ防止対策により、汚泥発生量を2008年3月までに2%削減する。(2006年上期平均を基準)	汚水量の増加で、汚水再処理設備の稼働が増加し、汚泥発生量9.5%増加。 ＜ダイカスト本部静岡部会＞
	水質・土壌汚染防止のため、液体保管物(切削油、溶剤、廃液等)の管理を維持する。	液体保管物(切削油、溶剤、廃液等)の保管量及び排出の管理を維持する。また、廃棄物の分別を維持する。	安全衛生パトロールの中で、液体保管物の分別・保管・排出手順及び廃棄物の分別が正しく運用されているかを確認、特に問題なし。 ＜グラフィックシステム本部＞
廃棄物の削減 リサイクル率の向上	環境汚染防止のため、廃棄物の削減及びリサイクル率の向上をはかる。	使用済みダンボールの再利用率50%以上。	再利用率72%達成。 ＜住建機器本部部会＞
		廃棄物のリサイクル率を2008年3月までに2007年度実績に対し、向上する。	リサイクル率76.2%で、2.7%向上。 ＜名古屋部会＞
		廃棄物の分別、リサイクルの強化・推進により、廃棄物を1%削減し、リサイクル率を1%向上する。(2006年度比)	総排出量20%(原単位4%)削減。 リサイクル率未達成。 ＜リョービミツギ部会＞
社会貢献	→ P.04-05参照		

環境保全技術

リョービは「くらしごこち」をテーマに、

くらしの中にゆとりと豊かさを創造する

“モノづくり”に全力で取り組んでいます。

環境保全においても、環境に配慮した商品の開発をはじめ、

生産・販売からお客様にお使いいただくまでの

さまざまなプロセスにおいて発生する

環境負荷の低減を推進しています。



<ダイカスト>

ダイカストとは? 12

ダイカスト製品のライフサイクルアセスメント 12

煙道の排熱利用による重油使用量の削減 (リョービ株式会社広島工場) 13

A 重油から都市ガスへの変更による CO2 削減 (株式会社東京軽合金製作所) 14

コンプレッサー台数制御による消費電力の削減 (リョービミラサカ株式会社) 15

<印刷機器>

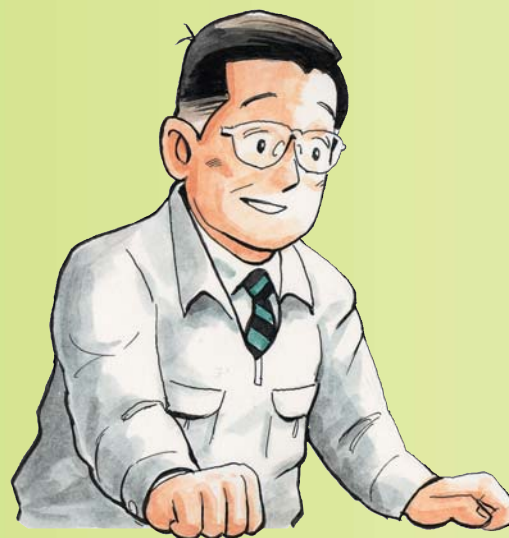
リョービの印刷機と環境対応 16

環境保護印刷の新技術 17

<パワーツール・建築用品>

環境に配慮した商品開発 18

環境に配慮した商品 19



Mr. 環境保全

未来の地球環境や暮らしのためにできることを日夜考え、カタチにしていける環境保全技術研究グループのチーフ。家庭に戻ると中学生の一人娘『碧ちゃん』にめっぼう甘い優しい父親である。

知ってる!? リョービのこと。



環境保全技術<ダイカスト>

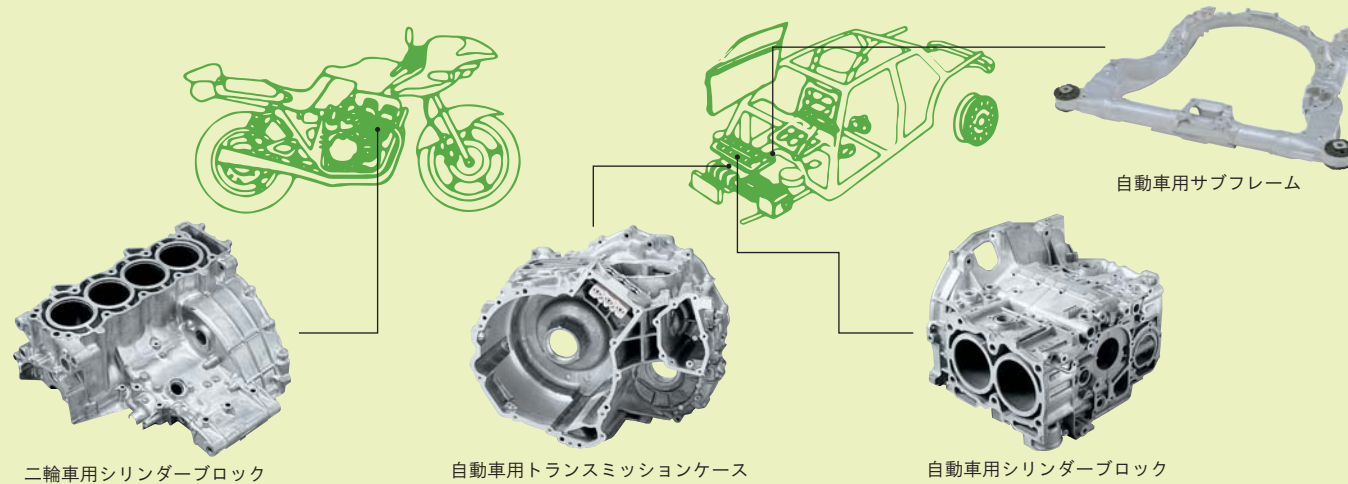
ダイカストとは？

環境保全に有効な技術として注目のダイカスト

ダイカストは、精密な金型に溶かしたアルミニウム、マグネシウム、亜鉛など非鉄金属の合金を高速・高圧で注入し、瞬時に成形する技術および製品のことをいいます。

ダイカストは、高い寸法精度が得られ、薄くて複雑な形状の製品を大量に生産することができます。

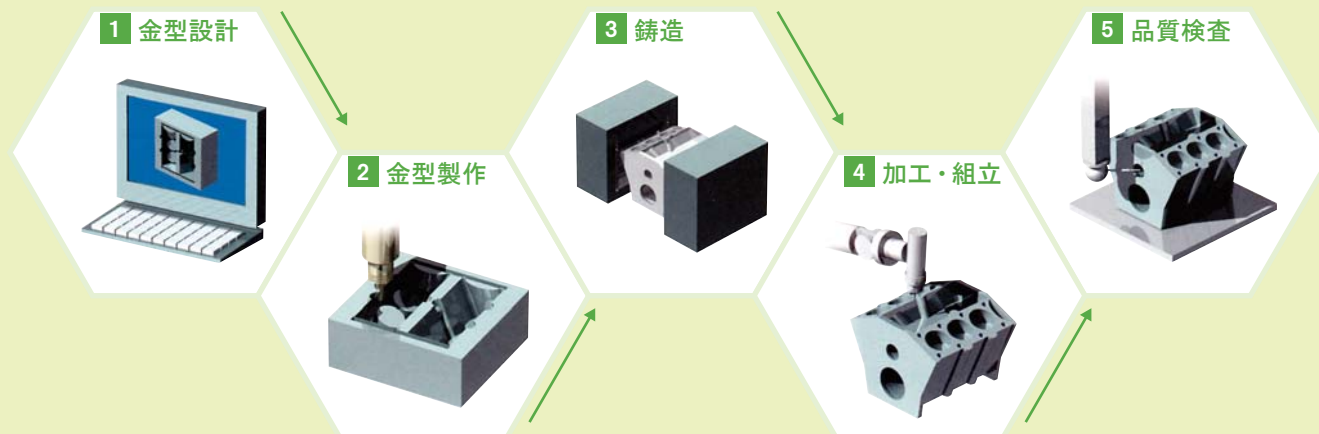
このような優れた特徴をもつダイカスト製品は、自動車やオートバイをはじめ、家電、OA機器、建築用品などさまざまな分野の構成部品として使われています。アルミニウムダイカストは、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れていて、省エネルギー、省資源など環境保全に有効な技術として注目されています。



ダイカスト製品のライフサイクルアセスメント

リョービは、コンピューターを駆使した解析から金型の設計・製作、鋳造、加工、組立にいたるまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

その一貫体制における各プロセスで発生する環境への負荷を評価しています。



設計段階における製品アセスメント

ダイカスト製品や金型によって生じる環境への負荷を低減させるために、設計段階では次のような評価を行っています。

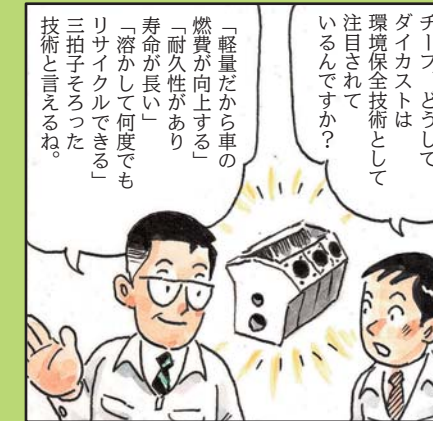
製品について

材質、形状、軽量化（除肉）、VA / VE、有害物質の有無など

金型について

ホルダーの軽量化、規格品の使用、遊休品の利用、特殊金型表面処理など

省エネルギー、省資源に注目のダイカスト。

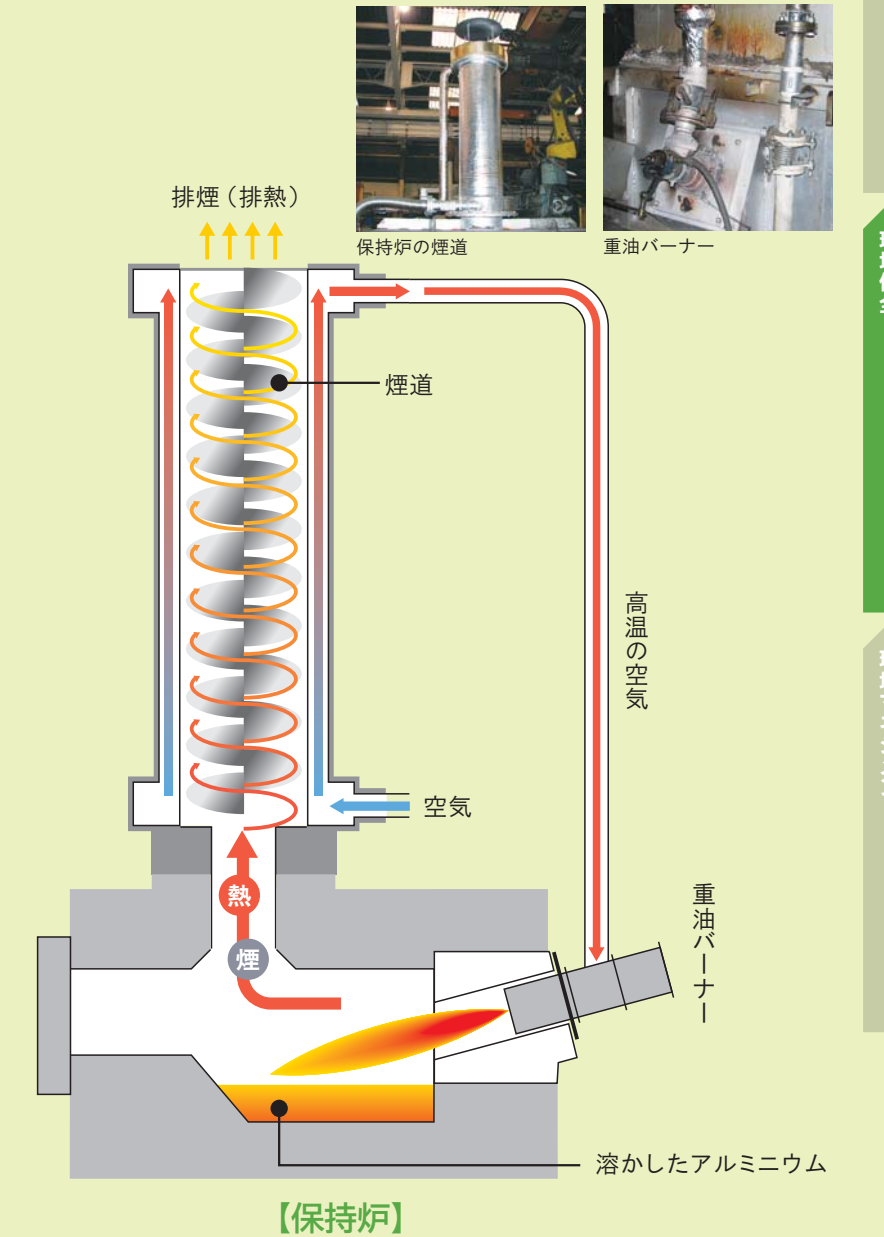


煙道の排熱利用による重油使用量の削減（リョービ株式会社広島工場）

ダイカストでは、溶かしたアルミニウム合金を鋳造機のそばの保持炉で保温します。650℃～680℃に保温するための保持炉では、重油バーナーを使用しています。重油バーナーは重油と空気を混合して霧状に噴射したものに着火して、燃焼させるために使います。

たくさんの重油を燃料として使いますが、この重油の使用量を削減していくことは、CO2排出量削減に直結します。このため、煙道（保持炉につけられた煙突）を通る排熱を利用しています。重油バーナーで重油と混合する空気を、煙道の周囲を通過させて高温にしておくことで、重油の使用量を約13%削減することができました。

この改造を行った保持炉は、現在8台です。今後順次拡大して、さらにCO2排出量削減に努めます。



環境保全技術<パワーツール・建築用品>

環境に配慮した商品開発

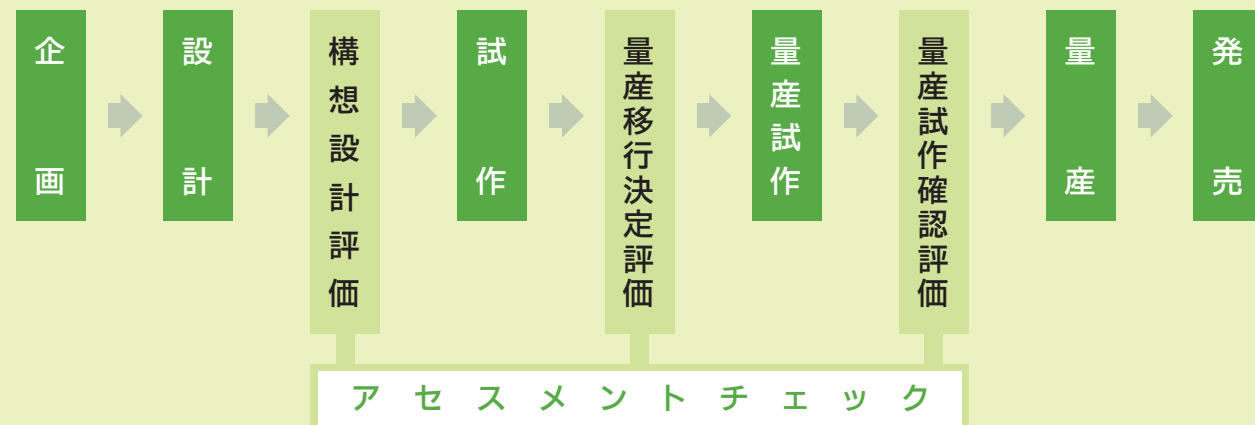
3R (Reduce・Reuse・Recycle) に着目した商品の開発設計

天然資源の消費を抑制し、環境負荷を低減するために

- 第一に **Reduce** : 長寿命化などにより廃棄物発生を抑制する。
- 第二に **Reuse** : 使用済のモノを再使用する。
- 第三に **Recycle** : 使用済のモノを再生利用する。
最後に適正処分する。 **といった3Rを中心とした取り組みが重要です。**

商品を開発設計する際には、環境負荷の低減を重要な要素の1つにしています。これを製品アセスメント基準に織り込み、3つの評価段階で適合性をチェックしています。既存品については設計変更時に同様の視点で見直します。

開発から発売までのフロー例



製品アセスメント基準の環境関連チェック項目例

1 材料の選定段階

- 使用素材の種類は現状より増えていないか。
- リサイクルの容易な素材を使用しているか。

2 加工・組立段階

- 部品点数は現行機より減少したか。
- 部品加工時、エネルギーをできるだけ使用しない形状になっているか。
- 製造工程で発生する廃棄物の量を最小化するよう、材料、製法、工程について事前評価しているか。

3 使用段階

- 消費電力の削減をはかっているか。
- 有害物質の廃棄を最少化または減少させているか。

4 廃棄

- 商品の解体が容易なユニット構成になっているか。
- 再資源化、廃棄に際して特別な配慮を要するユニットの分解・分離性は適切か。
- ユニットの部品は単一材料へ容易に分離分解できるか。

環境負荷の低減、これはリョービの技術者たちの大きな使命。そこで、商品開発の設計段階から製品アセスメント基準にこの要素を織り込んで、きちんと適合性をチェックしています。だから優れた環境配慮型商品が生まれ出すんだと技術者たちは自負しているんです。



環境に配慮した商品

環境にやさしいリチウムイオン電池採用商品の拡大

電動工具: 「BID-143」/「BDM-143」
園芸用機器: 「BB-1600」/「BHT-2600」

<リチウムイオン電池の主な特長>

- 1 カドミウムや水銀などの重金属を含まない。
- 2 従来の電池に対して、同じエネルギー量で比較すれば、体積で約20~40%、重量で約50%の小型・軽量化が可能。また、約3倍の高電圧が得られるため電池の使用本数を少なくして機器の小型・軽量化がはかれる。
- 3 浅い放電と充電を繰り返すと放電容量が減少するというメモリー効果が無いいため、継ぎ足し充電を行っても電池の劣化がない。
- 4 自己放電が少ないため、長期保存しても満充電に近い仕事量が可能。
- 5 低温~高温時の即充電が可能。



消費電力の少ないマグネットモーター採用商品の拡大

電動工具: 「IDS-135」/「RJK-120」
園芸用機器: 「AK-1800」

<マグネットモーターの主な特長>

- 1 従来のモーターに比べ、消費電力を約40%削減。
- 2 同出力の従来型モーターに比べ、約20%の小型・軽量化。



過酷な環境下であっても、高い耐久性と安定性を持つ引戸クローザ

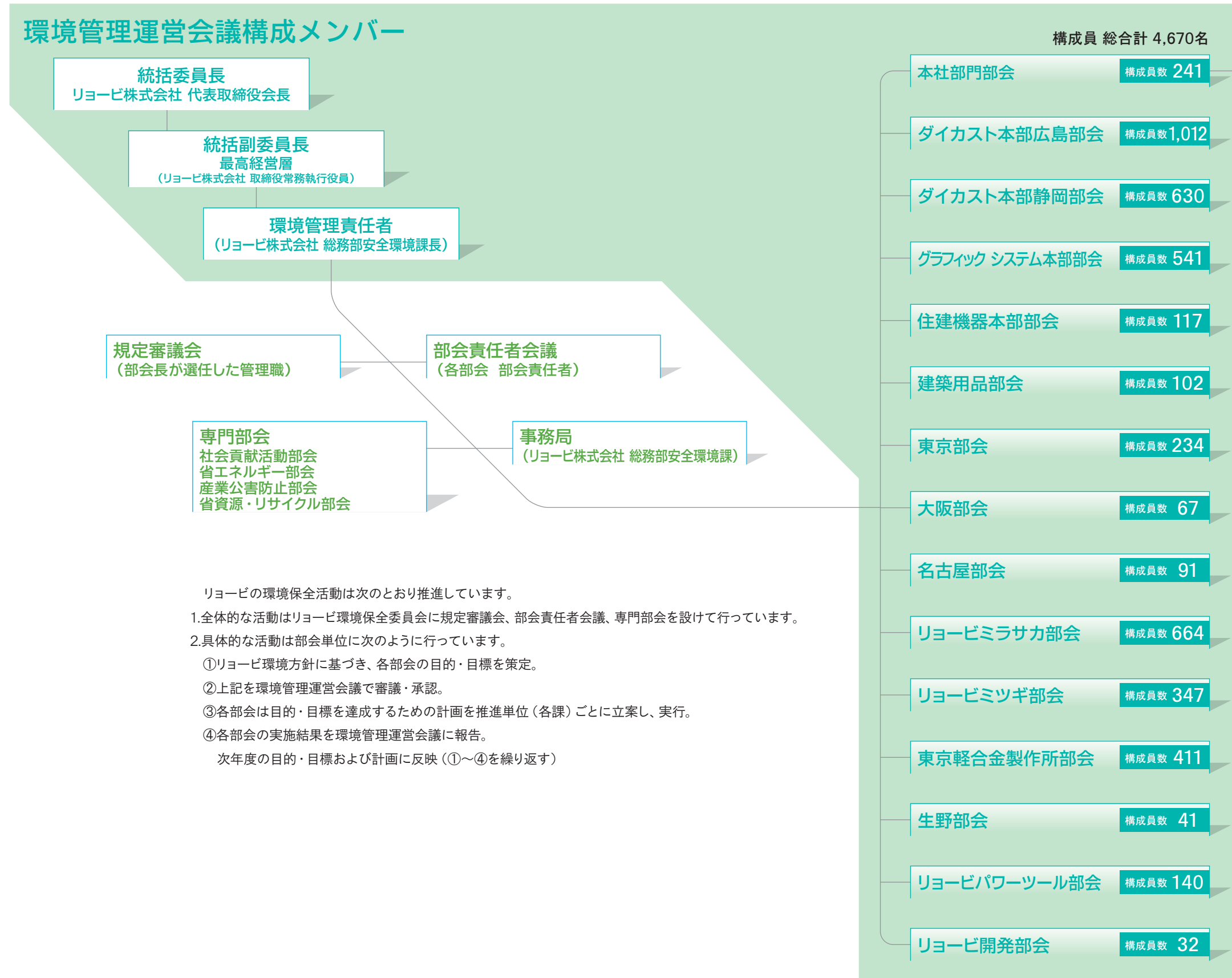
浴室引戸「SL-2AQシリーズ」

<引戸クローザの主な特長>

- 1 従来品より耐食性能に優れた材質・表面処理を採用。
- 2 粘性シリコンオイルにより周囲の温度変化でも安定した速度で確実に自閉することで、閉め忘れを防止。
- 3 湿気に強い特殊樹脂戸車で高い耐久性を実現。



リョービ環境保全委員会の運営組織図 (ISO 14001推進組織)



- リョービの環境保全活動は次のとおり推進しています。
1. 全体的な活動はリョービ環境保全委員会に規定審議会、部会責任者会議、専門部会を設けて行っています。
 2. 具体的な活動は部会単位に次のように行っています。
 - ①リョービ環境方針に基づき、各部会の目的・目標を策定。
 - ②上記を環境管理運営会議で審議・承認。
 - ③各部会は目的・目標を達成するための計画を推進単位(各課)ごとに立案し、実行。
 - ④各部会の実施結果を環境管理運営会議に報告。

次年度の目的・目標および計画に反映(①~④を繰り返す)

推進単位は全部会合計で102



RYOBI リョービ株式会社

本社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
Tel. (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
Tel. (03)3927-5541

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



ISO 14001 認証取得

この社会・環境報告書は当社の印刷機「RYOBI 685」で印刷しました。また、フォントはリョービ書体を使用しています。無断複製・転載等を禁止します。

2008年8月

©RYOBI LIMITED 2008 Printed in Japan